令和３年度　創立122周年　黄城会・饅頭会について（案）

１　総会に向けた計画について

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況で、県外各支部総会の中止などで当番回期の48期（平成８年卒業）においても、実行委員会での準備ができていない状況である。

令和３年度の総会開催の方針を決めていく必要があるが､当番回期の48期としては、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明であり、開催の判断は非常に困難である。

しかし、現在の状況が継続されることを前提で、総会開催について検討していきたい。

総会を開催する場合は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、３密（密閉空間・密集場所・密接場面）の回避が必要不可欠となる。

（感染が拡大している場合は、中止もあり得る。佐賀県知事の要請（自粛）など踏まえて対処を行っていく。）

２　総会の開催規模について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、３密（密閉空間・密集場所・密接場面）や業務種別ガイドラインに対応した総会を行う。

また、必要最小限の開催とし、県内の黄城会メンバーで人数を制限して行う。

感染拡大防止等の対応

(1) 密閉空間の回避（換気の徹底）

(2) 密集場所の回避（総会参加人数の制限）

(3) 密接場面の回避（ソーシャルディスタンス（２ｍ）の確保、総会式典の簡 素化）

(4) 接触感染の防止（ドアノブ、椅子、机等の消毒）

(5) 飛沫感染の防止（マスク着用の徹底）

(6) 参加者の安全確保（受付時の検温（37.5度以上の発熱)、濃厚接触者等と過去14日以内に接触がある方は、参加制限を行う。参加者の氏名・緊急連絡先の名簿作成、手指の消毒）

(7) 施設の清掃（施設使用前・後に消毒の実施）

３　饅頭会・卒50周年について

饅頭会・卒50周年は、会食を伴うイベントであり、飛沫感染を防止することは困難である。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、３密（密閉空間・密集場所・密接場面）や業務種別ガイドラインに対応した饅頭会・卒50周年を開催することは厳しいため、中止を考えている。

参考

濃厚接触者（国立感染症研究所 感染症疫学センター）
　「濃厚接触者」とは、「患者（確定例）」（「無症状病原体保有者」を含む。以下同じ。）の感染可能期間に接触した者のうち、次の範囲に該当する者である。
・患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
・適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた者
・患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
・その他：手で触れることの出来る距離（目安として１メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と15分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）。

※ 12月の理事会時には検討して具体的な実施案を提案したい。

理事からの意見（要望）等

・　総会を開催するに当たっては、ウィズコロナで規模を縮小して開催すれば会員券収入である金銭的なものが懸念される。48回期としては、47回期の会員券の取扱い状況などの引き継ぎを受ける必要もあるだろう。
　いずれにしても、黄城会の脈々と続いてきた伝統を繋いでいきたいと皆さん思われているので、会計面の心配をさせないよう、会員券の購入や新聞広告の協賛にも協力をするなどのバックアップの体制を取ったらどうか。

・　（23回期）　来年の卒業50周年を迎えるから、数年前から卒業50周年をお祝いしてもらえることを準備してきたのでお祝いをして欲しい。

・　（22回期）　総会が中止になり、卒業50周年のお祝いができなかった。同窓会も断腸の思いで中止した。人数は少なくても良いので、お祝いの場を設定して欲しい。

・　総会も半世紀経ったので現状に合わせて無理のない計画をしてはどうか。新しい総会のあり方を試みについて検討すべき。将来のの実行委員も加えて協議してはどうか